

2013年度 第3四半期 決算説明資料



CNC立形複合研削盤
Vertical Mate35

株式会社 太陽工機

第3四半期 決算概要

損益計算書 (P/L)

出荷時期が第4四半期に集中するため、売上が伸び悩み
業績は一時的に停滞。

(百万円)	2012年度 第3四半期	2013年度 第3四半期	
	実績	実績	対前年比
売上高	4,312	2,860	▲ 33.7 %
営業利益	563	38	▲ 93.2 %
(売上高比率)	13.1%	1.4%	▲ 11.7 point
経常利益	533	9	▲ 98.3 %
(売上高比率)	12.4%	0.3%	▲ 12.1 point
税引前利益	525	9	▲ 93.2 %
当期利益	490	▲ 10	—

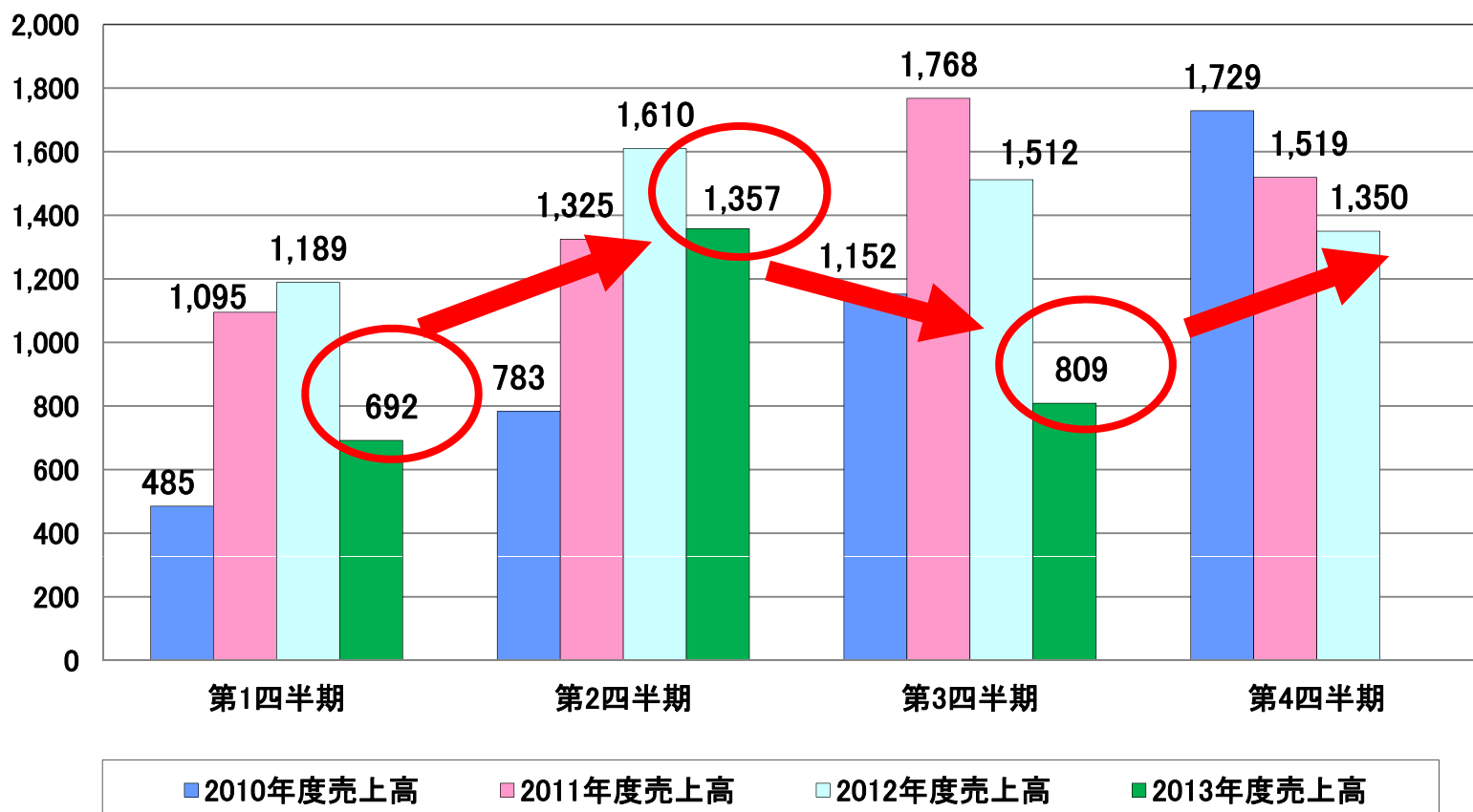
通期業績見込み

通期の業績見込みについては変更なし。

(百万円)	2012年度		2013年度 予想	
	中間期	通期	中間期	通期
	実績	実績	実績	計画
売上高	2,799	5,663	2,050	4,700
営業利益	311	689	48	240
(売上高比率)	11.1%	12.2%	2.3%	5.1%
経常利益	291	649	25	200
(売上高比率)	10.4%	11.9%	1.3%	4.3%
当期利益	263	768	7	100
1株当たり配当金	0円	10円	0円	10円

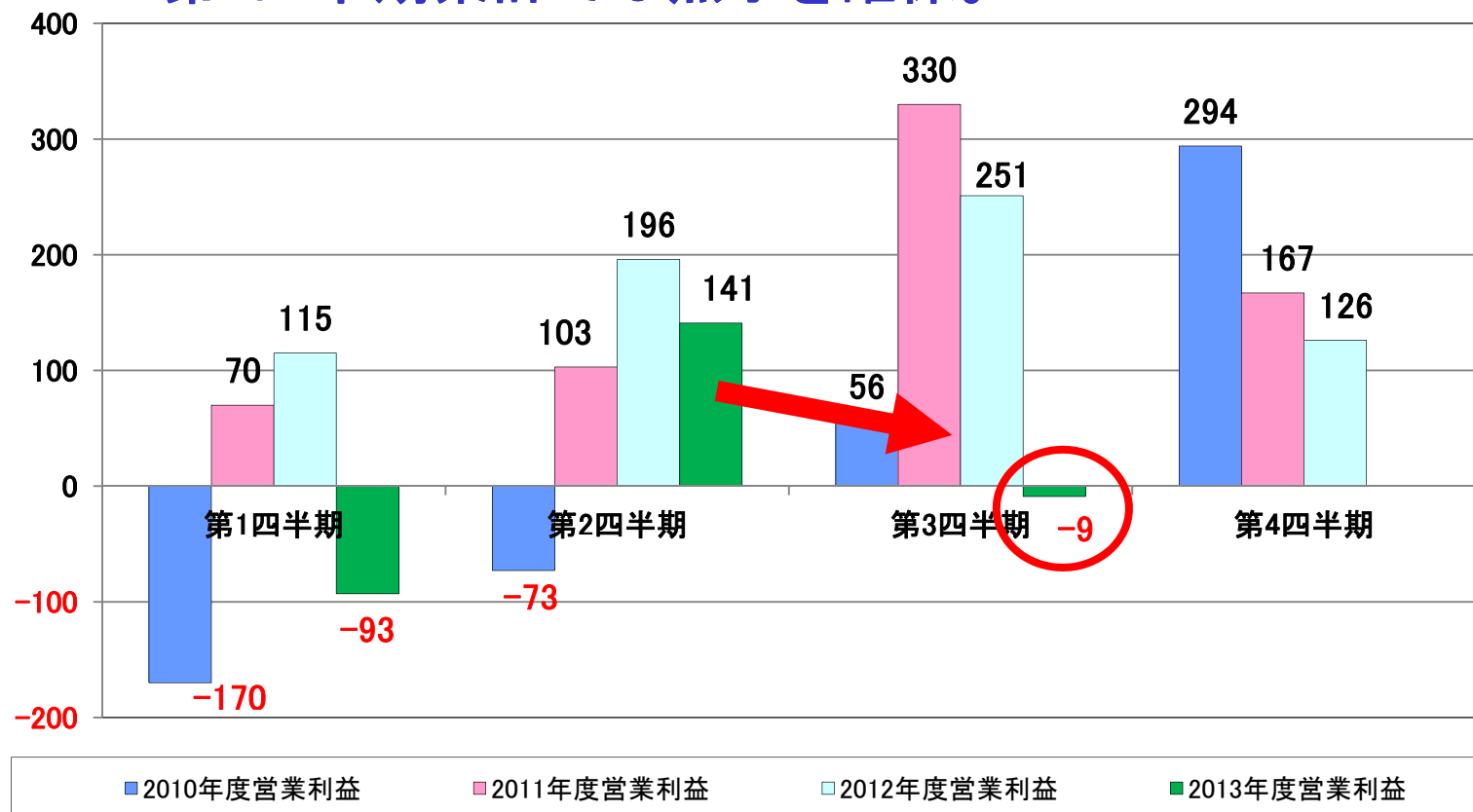
売上高(四半期別推移)

今期は上期、下期ともに後半の月に出荷が集中。
⇒第3四半期は第1半期同様、一旦売上が減少。



営業利益（四半期別推移）

売上の鈍化に伴い、四半期営業利益は赤字となるが、生産の効率化により原価率の増加を抑制。
⇒第3四半期累計では黒字を確保。



貸借対照表(B/S)

第4四半期に売上が集中するため、棚卸資産が増加。

(百万円)	2012年度	2013年度		(百万円)	2012年度	2013年度	
	3月31日実績	12月31日実績	増減		3月31日実績	12月31日実績	増減
資産の部				負債純資産の部			
流動資産	2,367	2,238	▲ 129	流動負債	485	398	▲ 87
現金及び預金	296	87	▲ 209	買掛金	155	181	26
売掛金	1,000	607	▲ 393	未払法人税等	43	4	▲ 39
棚卸資産	901	1,292	391	製品保証引当金	45	30	▲ 15
繰延税金資産	160	152	▲ 8	役員賞与引当金	18	0	▲ 18
その他流動資産	9	99	90	その他流動負債	223	181	▲ 42
固定資産	1,339	1,301	▲ 38	固定負債	815	769	▲ 46
建物	793	758	▲ 35	リース債務	768	726	▲ 42
土地	354	354	0	その他固定負債	47	43	▲ 4
その他有形固定資産	142	134	▲ 8	純資産	2,405	2,371	▲ 34
無形固定資産	6	4	▲ 2	株主資本	2,390	2,360	▲ 30
投資その他資産	42	49	7	新株予約権	15	11	▲ 4
資産合計	3,706	3,540	▲ 166	負債純資産合計	3,706	3,540	▲ 166

原価率・販管費・株主資本比率

ロット生産及び生産の平準化により、原価率は70%をキープ。
SVG-3/3T、Vertical Mate35等の新製品の開発に注力し、
研究開発費が増加。⇒販売管理費が増加。

	2011年度 通期	2012年度 中間期	2012年度 第3四半期 (累計期間)	2012年度 通期	2013年度 中間期	2013年度 第3四半期 (累計期間)
売上高原価率 (下段は売上原価: 百万円)	70.0% 3,995	71.2% 1,992	69.0% 2,971	69.7% 3,948	70.8% 1,452	70.6% 2,018
販売管理费率 (下段は販売管理費: 百万円)	18.2% 1,041	17.7% 495	18.0% 777	18.1% 1,025	26.8% 550	28.0% 802
株主資本比率 (下段は株主資本: 百万円)	42.7% 1,634	47.1% 1,870	59.5% 2,100	64.5% 2,390	65.1% 2,377	66.7% 2,360

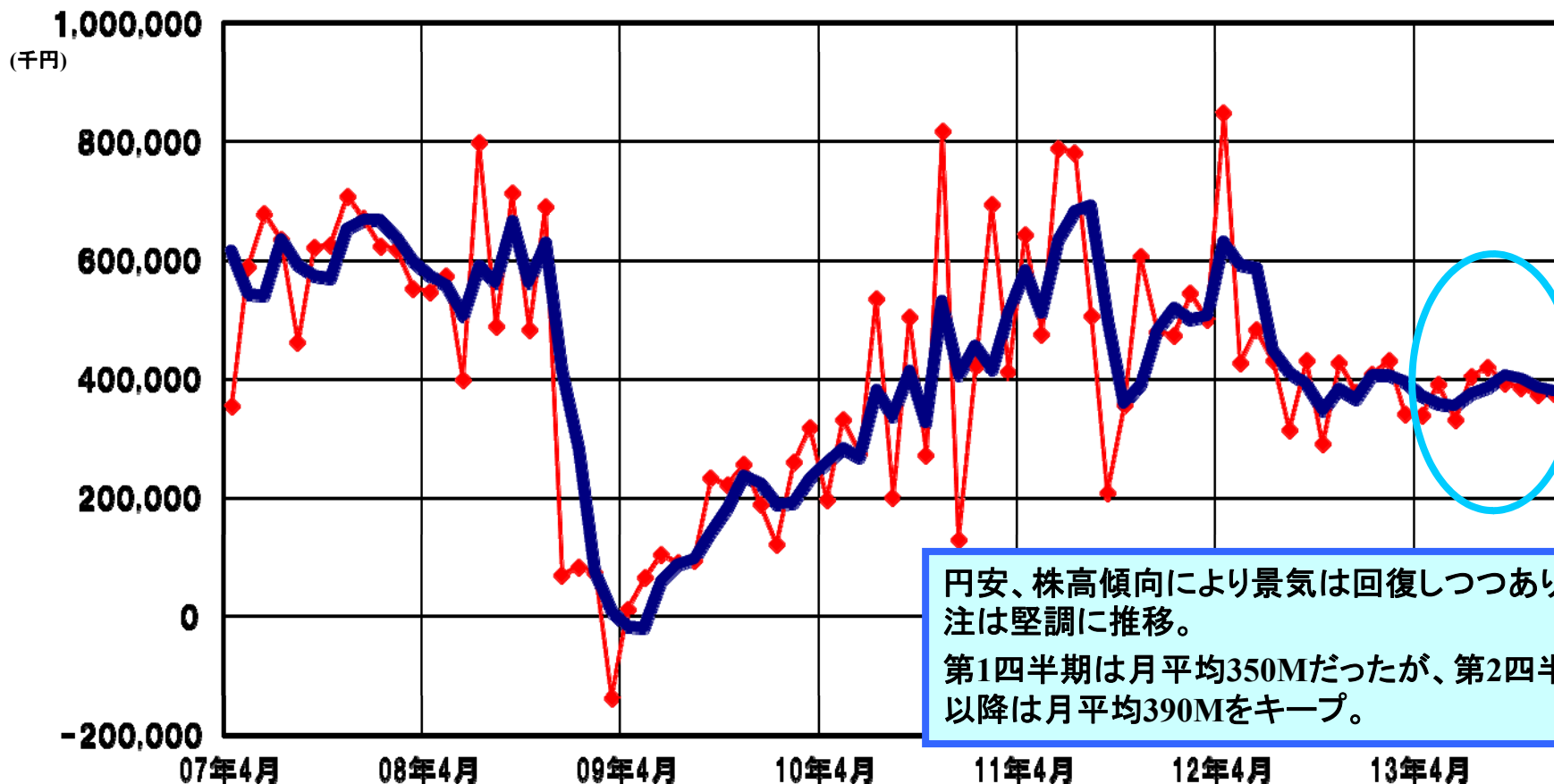
回轉期間

	2012年度	2013年度	
	第3四半期	第3四半期	増減
売上債権回轉期間	1.79	1.91	0.12 ヶ月
棚卸資産回轉期間	2.46	4.07	1.61 ヶ月
仕入債務回轉期間	0.41	0.57	0.17 ヶ月
固定資産回轉期間(有形)	2.69	3.93	1.24 ヶ月
借入金回轉期間	0.08	0.00	▲ 0.08 ヶ月

受注高の推移

合計**3,417M**(前年同期比15.3%減)
第**3**四半期末受注残高**2,445M**(当第**2**四半期末比326M増)

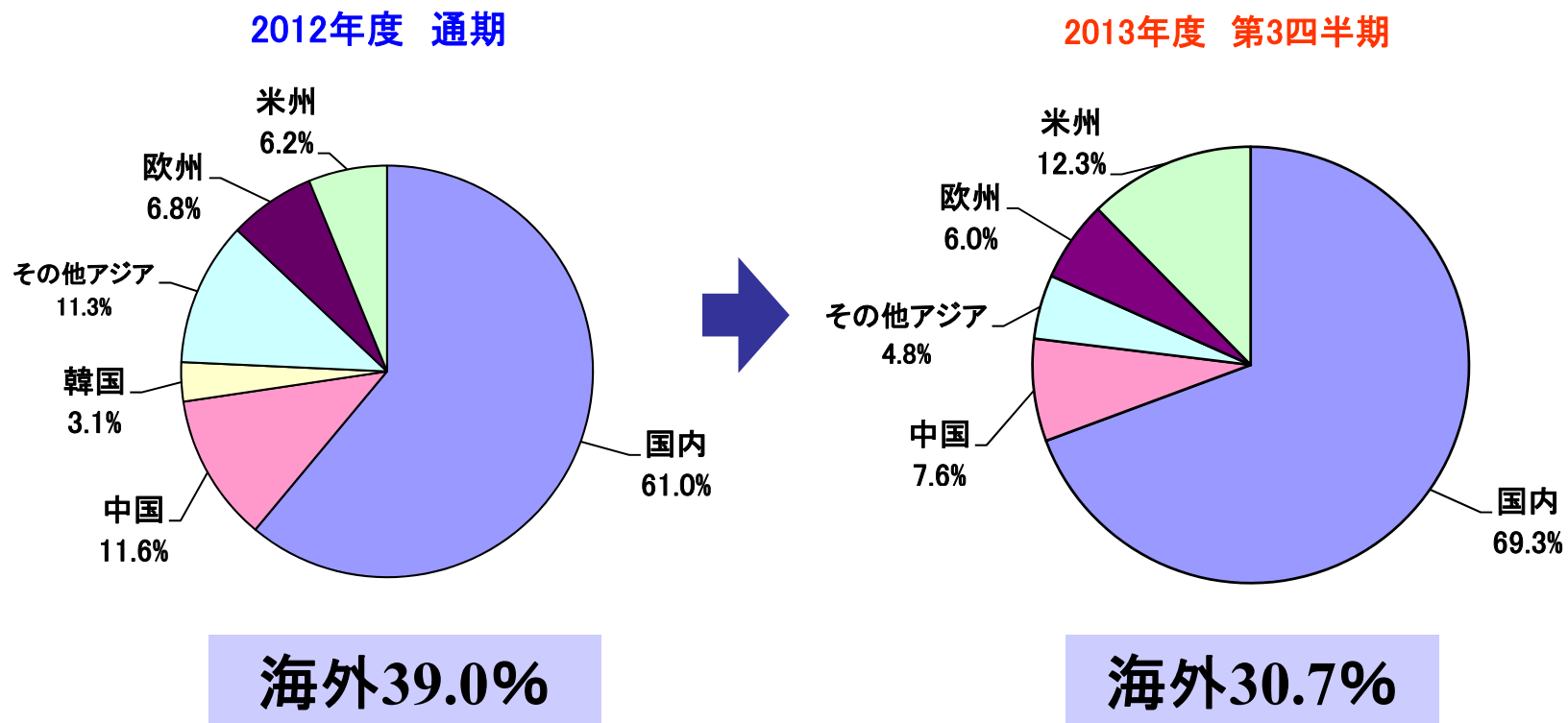
青線 : 3ヵ月移動平均



円安、株高傾向により景気は回復しつつあり、受注は堅調に推移。
第1四半期は月平均350Mだったが、第2四半期以降は月平均390Mをキープ。

海外納入比率

米州：国内自動車関連企業のメキシコ納入案件が大幅に増加。
中国・その他アジア：国内企業の現地納入案件は小休止。
現地ユーザから新規受注は好調。



今後の展開①

■マーケット開拓

グローバル営業の強化

- ・アメリカ：世界最大手メーカへの納入実績をもとに展開。
(航空機エンジン、建設機械、ベアリング)
営業拠点を軸に市場開拓を強化。
- ・新興市場：韓国、台湾、タイ、インド、メキシコ等の開拓。
- ・中国・欧州：営業拠点を軸に設備投資需要の掘り起こし。
- ・欧州：航空機関連メーカから大型受注の有力案件が浮上中。

国内市場の開拓

- ・自動車部品業界への新機種投入による拡販。
- ・設備投資意欲の高い中小企業の掘り起こし。
- ・立形以外の研削盤の拡販。(横形・カム研・ネジ研)

今後の展開②

■新製品の新規開発

- ・プライベートショー2014、JIMTOF2014に向け、新製品の開発を推進。
- ・ネジ研削盤のシリーズ化。
- ・小型立形研削盤(SVGシリーズ)の開発。

■製品レベルの向上

- ・QCD(品質、価格、納期)で他社を圧倒。
- ・市場でのシェアを確固たるものにする。
- ・お客様のニーズを取り込んだ製品開発。
- ・お客様の生産改革に貢献し、お客様とともに成長を目指す。